

ダイアログ 28 Giving an example 「例をあげる」

Target Expression: They sell other things, **for example**, sheets, blankets, pillows....

(ほかのものも売ってる。たとえば、シーツ、毛布、まくらとか。)

アクティビティ名：「なに屋さん？」

用意するもの：八百屋、蒲団屋、金物屋、といったお店の絵。いくつかの商品を大きく描いておく。

お店（お店ではそれぞれの物品を複数扱っているのです、売られているものは全て複数形になっている。）

八百屋(a grocery)：にんじん(carrots)、ピーマン(green peppers)、なす(eggplants)、きゅうり(cucumbers)、じゃがいも(potatoes)、トマト(tomatoes)

蒲団屋(a futon-ya)：ふとん(futon)、シーツ(sheets)、毛布(blankets)、まくら(pillows)

金物屋(a hardware shop)：バケツ(buckets)、ナイフ(knives)、工具(tools)、はしご(ladders)

花屋(a flower shop)：ユリ(lilies)、バラ(roses)、チューリップ(tulips)

ケーキ（お菓子）屋(a cake shop)：お菓子(sweets)、ケーキ(cakes)、クッキー(cookies)、チョコレート(chocolates)

お店の紹介と、for example を使ったお店で売っているものの例示を教師がし、生徒に Listen & Repeat させる。その後ペアかグループで好きなお店を選び、例示したいものを列挙する。単語は自分たちで調べてもいいし、教師がヒントをあげたり言ったりしても良い。文ができたらグループで発表。クラスに何のお店について言っているか当ててもらう。

教師はお店の絵を生徒に見せながら、ターゲットの表現を発話し、生徒に繰り返してもらいます。

一通り終わったら、生徒に当てて言ってもらい、最後にもう一度、クラス全体で繰り返してもらいます。

生徒にペアかグループになってもらいます。

それぞれのペアかグループに好きなお店と、そこに売っているものを書き出してもらい、ターゲットの文を使った表現を作ってもらいます。教師は歩いてまわり、わからない語や発音練習などを助けたり、お店に売っているものについてヒントをあげたりします。各ペアかグループで発表する人を決めてもらい、それぞれ作った文を発表してもらい、他の人たちに「何のお店について例示しているか」を当ててもらいます。

Student A: What kind of store is this? They sell vegetables, for example, carrots, green

PART V ACTIVITY 教室活動案

peppers and eggplants.

Student B: It's a grocery!

Student A: You are right!

生徒 A：このお店は何のお店でしょう？ 野菜、例えばにんじん、ピーマンやなすを売っています。

生徒 B：八百屋だ！

生徒 A：正解です！